



涌谷高校令和3年度の防災の取組を振り返る

涌谷高校は令和3年度と令和4年度の2年間、「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」実践研究校として指定されています。防災講演会や被災地訪問学習といった学校行事、ボランティア活動等の防災の取組を行ってきました。下の表がその一覧です。

| 「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」実践研究 令和3年度取組 | | | |
|----------------------------------|----------------------------|---------------|--|
| 月日 | 行事名 | 会場 | 内容・参加者など |
| 5月8日 | 「青い鯉のぼりプロジェクト」ボランティア活動 | 東松島市矢本 | 内容：鯉のぼり掲揚作業 1年/松野未空、丸谷姫空、須藤彩夏 2年/白倉青空、黒田璃々花、佐々木悠貴、門脇珠央、島瀬望歩 3年/岡加恵菜、高橋美羽、柳田愛月、三浦勇希、佐々木千暖、佐藤小花、清野風、山田亜莉沙 |
| 6月7日 | 第1回防災講演会 | 本校 | 講師：雁部那由多氏 テーマ：「被災体験と高校生へのメッセージ」 全校生徒、教職員 |
| 6月11日 | 春季防災訓練 | 本校 | 内容：授業中・地震想定、防火扉を閉めて実施 全校生徒、教職員 |
| 9月10日 | 第2回防災講演会 | 本校 (オンライン) | 講師：諏訪清二氏 テーマ：「災害と向き合う」 全校生徒、教職員 |
| 9月22日 | 地域の災害特性を学ぶ教職員研修会 | 本校 | 講師：佐藤健氏（学校防災アドバイザー） テーマ：「指定緊急避難所への避難行動と指定避難所の開設運営～洪水を中心に～」 本校教職員、涌谷町内の学校（幼・保・小・中）防災担当者、涌谷町教育委員会、涌谷町総務課、遠田消防署 |
| 10月6日 | 秋季防災訓練企画 | 本校 | 内容：避難訓練の想定を考えるKJ法によるワークショップ 2年/門脇珠央、佐々木悠貴 3年/佐藤幸太 |
| 10月23日 10月24日 | 映画『有り、触れた、未来』ボランティアエキストラ参加 | 東松島市矢本 | 内容：鯉のぼり掲揚・太鼓演奏のシーンに参加 2年/門脇珠央、佐藤愛音、島瀬望歩 |
| 10月28日 11月4日 | 防災ワークショップ (総合的な探究の時間) | 本校 | 内容：本校周辺地図を用いて地域の特性を学ぶ災害図上訓練DIG 2学年 |
| 11月24日 | 秋季防災訓練 | 本校 | 内容：放課後・地震想定 放課後校地内にいる生徒、教職員 |
| 12月8日 12月10日 | 被災地訪問学習 | 本校 | 講師（大川小学校遺構）：佐藤敏郎氏、平塚真一郎氏 内容：大川小学校遺構、女川、門脇・南浜地区の見学 事前学習・事後学習各1時間 1学年（10日）、3学年（8日） |
| 12月12日 | みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会 | 多賀城市文化センター | 内容：基調講演、マイタイムラインの作成 2年/門脇珠央、佐々木悠貴 |
| 1月9日 | 兵庫県・三重県・むつ市合同研修会 | 東松島市おおい地区西集会所 | 内容：災害発生後の対応を考えるワークショップ 1年/千葉桃郁 2年/佐々木悠貴 |
| 1月22日 | 東日本大震災メモリアルday2021 | 本校 (オンライン) | 内容：全国の高校生とのオンライン交流 1年/遠藤風、畑山智惺 2年/佐々木悠貴 |
| 1月28日 | 防災備蓄品仕分けボランティア活動 | 本校 | 内容：防災備蓄品の仕分け作業 1年/佐藤琥太郎、松野未空、丸谷姫空、遠藤琉希、西條杏星 2年/高橋礼、千葉音寧、松田実久、大川茂道、浅野菜々、阿部有紀乃、浅野萌々、大野夏芽、岡崎志歩、金沢希佳、佐竹理沙、鈴木麻衣、鈴木結依、鈴木瑠那 |
| 2月10日 | 防災ワークショップ (総合的な探究の時間) | 本校 | 内容：「1日前プロジェクト」24時間後に地震が起きる想定での対応を考える学習 1学年 |

<生徒のコメント> (防災学習振り返りシートより一部抜粋)

●1年間を振り返って

防災に関して、1年間を通してどのようなことを学びましたか。また、どのように防災意識が変わりましたか。

- ・ 自分も震災を経験しているが、当時は何が起きているか分からず助けてもらってばかりだった。この1年間で聞いたことや見て学んだことを生かして、これからは助ける側にならなければいけないと感じた。
- ・ 自分の命は自分で守る。今、何気なく生きている日々は決して当たり前なことではない。生きていくうえで大切なことを学びました。
- ・ 1年間を通して、防災の話は進んで話題にすべきだと意識が変わりました。「分からないから」「好まれる話題ではないから」と災害について触れなくなっていた事実を改めて知り、この学習で学んだことをまっすぐに受け止めることができました。今年だけで終わらせずこれからもこの学びを続けて欲しいと思います。
- ・ 私たちが一番経験した中で大きい災害は東日本大震災だと思います。当時まだ小さかった私は周りのために何もすることができませんでした。1年間で防災についてたくさん学びました。次、また大きい災害が起きたときに周りのために何かできるように、避難場所や防災グッズの準備をしっかりと行い、日頃から意識していこうと思います。
- ・ 1年を通して、防災をするためには、地域や年齢で異なる災害のイメージを共有したり、災害に対して正しい知識を持ったりして、災害が起きた時に正しい判断や行動を考えることが大切だと学んだ。防災は前まではあまり考えていなかったけど、準備したり話し合ったりして、いつ災害が起こっても対応できるようにすることが大切だと思った。
- ・ 様々な講座を受けてみて、震災は悲劇という印象は変わりませんでした。しかし、その震災を胸の内に秘めておくのではなく、人々に伝えることができるというのが分かりました。また、実際に震災当時の現場を見に行き、残酷な光景を見て、遺族の方の話を聞いて、自分の命を大切にしようと改めて心がける機会を与えてくれました。

もうすぐ東日本大震災発災から11年 学校防災だよりタイトル「つなぐ」に込めた想い

1年間防災学習を通して、経験した方の想いに触れたり、命の大切さを考えたりしてきました。その中で考えが変わったり防災意識が高まったりした人もいるのではないのでしょうか。

東日本大震災が発災して、もうすぐ11年が経ちます。復興を遂げている部分もある一方で、そうでない部分もあります。心の傷が癒えない人はたくさんいます。

私たちは“災間”を生きており、残念ですが災害はいつかまた必ず起こります。しかし、私たちにはできることはあります。この1年で学んだことや辛い経験をされた方々の想いを受けとめ、「自分だったら何ができるか」を考えてみてください。そして、周りの人に伝えたり行動に移したりしてほしいと思います。少しずつその輪が広がっていくと、次の災害が起きたときに、一人でも多くの人の命が助かることにつながるのではないのでしょうか。

自他の命を大切に、自ら考え行動できる人になってほしいと願っています。

学校防災だより

涌高のHPでも見られます。

涌谷高校 学校だより

